

誠心

手と手をつなぎ

互いを信じて突き進め

揺るがぬ想いが未来を切り開く

JCNEWS

Jan. 2024 TAJIMI JC



第70代理事長 三和 義幸

【はじめに】

近年テクノロジーの発達は人々の生活に利便性をもたらし、働き方や学校教育を始めとする生活環境に急激な変化をもたらしました。人口減少や少子高齢化により社会が衰退しつつある中で、人類はこれまで無かった技術や多様な情報、価値観を得ることで新たな可能性を見出し、社会をより良い方向に進めてきました。人々は求めれば自ら考えなくても膨大で多様な情報の中から、最適化された答えを得ることができ、どこでも自分の価値観に合う人を選びデジタルを通じてつながるようになりました。

この進化により、これまで経験や学びから得ていた情報や知識、様々な人が互いに心を配りながら作ってきたコミュニティのあり方が大きく変わりつつあります。この変化の中で人々がテクノロジーにただ依存してしまえば、人間としての意志や人のつながりは希薄化し、社会は人を必要としない無機質なものになってしまうのではないのでしょうか。

今後どんなにテクノロジーが進化しても、変革の能動者である我々が自ら考え行動する勇気と、他者を認め想いやる優しさをもち続けられれば、未来への可能性を創り続けることができます。この無限に広がる可能性こそが希望となり、社会を創る原動力となっていくのです。

未来は誰かが準備してくれるものではなく、自らの手で切り開いていかなければなりません。今こそ、己が信じる道を確認する信念をもって突き進み、多様な可能性の輪を広げてまいりましょう。

【信念を貫くリーダー】

産業の構造改革やAIの発達により、急激に社会は変化しています。シンギュラリティ到来も予測され、すでにAIは情報収集、分析において人間より優れ、個別に最適化された情報や知りたい答えをすぐに提供してくれます。しかし近年、この自分に都合がよく、心地いい情報や与えられる答えだけを鵜呑みにし、本来人間がもつべき思考と言動への責任を放棄してしまう人が増えているように感じます。このままでは、人々が自分の在り方を考えることなく、自分さえ良ければいい、今さえ楽しければいいという人がこのまに蔓延し、社会が混乱してしまうのではないのでしょうか。

今こそ、我々JAYCEEが、思考と責任によって自分が成るべき姿を見つけ、進むべき道標としての揺るぎない信念をもたなければいけません。そして自分に都合のいいものに流されるのではなく、信念を貫くために必要な行動を選択し、皆の規範として、行動で語らなければなりません。その自信と勇気に満ちた姿が信頼をつくり、人々を惹きつけ導くことができるのです。

我々とともに歩む人々を増やし、希望に溢れた社会を創り出すため、まず我々が先頭にたち信念を貫くリーダーとして道を開いてまいります。

【皆が手を取り合える社会を目指して】

「障がいがあるからできない」そんな決めつけの声をよく聞きます。重複障がいをもつ子の親である私自身も、障がいという言葉で娘の可能性を諦めていた時期がありました。しかし、愛ある皆様との多様な交流に恵まれ、歩けず話せなかった娘が、今では自分の意思で好きなところへ行き、自分の想いを私に伝えてくれるまでに成長しました。

自身の経験から現代社会を見ると、情報技術の進歩と価値観の多様化により、国籍や障がいといった様々な少数派のコミュニティ形成が容易となり、個々に寄り合う生きやすい社会を構築しています。しかし、人々は同質性の安心感から交流を細分化されたコミュニティだけで完結させ、違いや否定への恐れから、外との交流を避けるようになりました。そして、コミュニティ外とのつながりは希薄化し、互いを認知することなく、あるいは言葉のイメージから思い込みという壁を作ってしまうのです。

無関心や偏見が当たり前となり、互いを知らず認め合えない社会では、限られた人のみに都合のいい解決策や誤った判断を生み、皆が幸せなまちを作り出すことはできません。娘のように可能性に満ちた子どもたちがこの壁に阻まれていては、新たな視点やアイデア、人財の可能性が失われ、進歩なきまちが出来上がってしまいます。だからこそ、自らの体験を通じて多様性を感じることで、大人は子どもの可能性に気づき、子どもは違いを異彩とする必要があるのです。それが相互理解と自信を生み、今まで交わらない要素を結びつけ新たな風を起こすと確信しています。皆で価値を創り出すインクルーシブなまちを目指し、互いに手を取り合ってまいります。

【多治見青年会議所として】

多治見青年会議所は来年創立70周年を迎えます。我々がこのまちで大きく運動を展開できるのは、これまで先輩諸氏が築き、つないでくださった組織への信頼と実績があるからに他なりません。これまでの功績を礎に運動する我々は、今ある流れに漫然と身を任すのではなく、多治見青年会議所として時代を見据えた変化をしていくことで、社会に貢献し続ける組織でなければいけません。

そのためには、70周年を目前にした今だからこそ、これまでの運動やそこに込められた情熱を知り、多治見青年会議所がつないできた想いを大切に、我々が守り続けるべきこと、新たに取り入れるべきことを考えていく必要があります。そして、一人ひとりがJAYCEEとしての資質を高め、多治見青年会議所の一員としての自覚と誇りをもち、求められる役割を演じなければいけません。

「明るい豊かな社会の実現」を目指す団体として、多治見青年会議所が先輩諸氏、関係諸団体、地域の皆さま、全世界で活躍する仲間たちから、より一層の信頼とご期待をいただけるよう、組織をアップデートしてまいります。

【むすびに】

社会情勢や価値観、テクノロジーが加速度的に変化する時代であっても、青年会議所の本質は変わりません。様々な運動に挑戦する機会、支えてくれる家族や仲間への感謝、多様な考えをもつ人々とのめぐり逢い。自分の可能性を広げることができる場所。それが青年会議所なのです。

40歳までという限られた時間の中で、互いに想いをぶつけ、認め合いながら、自己を成長させ、皆の幸せを目指し地域に貢献していく。そんな志高き青年たちの姿が、人々を惹きつけ、未来を創っていくのです。

時代を超えて語り継がれるものには必ず信念があります。我々も己の内から湧き出す情熱という力と、他者を受け入れ大切にする愛という想いをもって邁進してまいります。想いだけでも力だけでも皆を導き幸せな社会をつくることはできません。その2つをもった我々JAYCEEが先頭に立ち、必ず誰もが誰かと手を取りあい、優しく強い想いが連鎖する。そんな誰一人取り残さない、幸せ溢れる社会を目指し、明日への道を突き進んでまいります。

執行部紹介



副理事長 坂崎 雄介

新年おめでとうございます。
本年度、副理事長となりました入会7年目の坂崎雄介です。
理事長の所信の通り、我々は歴史あるこの組織の良き所を守り、これからの時代に合わせてアップデートさせていく必要があります。それには強固な繋がりや支え合いの意識が鍵となります。皆様におかれましては、社業などご多忙かと思いますが、私も皆の見本になれるよう精進いたします。一年宜しく申し上げます。



副理事長 山本 将寛

皆様健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。謹んで新年のご祝辞を申し上げます。
インクルーシブシティ創造委員会では、個性があり、多様性があること、そして我々は共存していることの知るための機会を提供することで今後、他の考えを柔軟に受け入れ、広い視野を持つ人材へと導いてまいります。我々の事業はメンバーの方々の協力をもって成功させることができます。お忙しい方々ばかりだと思いますがご参加の方をよろしく願っています。
副理事長としてしっかりと委員会メンバーの成長の場となるように指導してまいります。1年間どうぞよろしくお願い申し上げます



副理事長 篠塚 栄人

新年あけましておめでとうございます。
本年度副理事長を務めさせていただきます篠塚栄人と申します。
1年を通して、執行部役員として自己の言動が組織全体に与える影響を考えながら活動するとともに、担当副理事長として信念を貫くリーダー育成委員会を指導監督します。1年間どうぞよろしくお願い申し上げます。



副理事長 若尾 将成

新年あけましておめでとうございます。
2024年度、渉外委員会の担当副理事長を拝命いたしました若尾成と申します。
本年度の渉外委員会は対外との交流、70周年に向けての準備、情報発信の3つを柱として活動を展開してまいります。
来年の70周年という大きな節目をむかえる今だからこそ、これまでの培ってきたものを大切にすると共に新しいものにも目を向け1年邁進してまいります。
どうぞよろしくお願い申し上げます。



専務理事 谷口 雄亮

新年あけましておめでとうございます。
本年度、専務理事の職をお預かりします谷口雄亮と申します。
専務理事として、理事長を補佐するとともに、事務局の長として三和理事長の想いのもと展開される組織の活動内容と進捗状況を把握し、円滑な運営に心がけることで組織を downstairs いたします。歴史ある多治見青年会議所がこれからも地域とともに発展していけるよう全力で取り組んでまいります。1年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

委員会紹介



総務委員会
古畑 佑樹

新年あけましておめでとうございます。
総務委員会委員長の古畑佑樹です。
当委員会は組織を下支えする委員会として、組織力の向上をテーマに活動してまいります。メンバーの皆様には多治見青年会議所の活動や事業に積極的にご参加いただきますようお願いいたします。
1年間という短い期間ではございますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。



信念を貫くリーダー育成委員会
宮地 輝

新年あけましておめでとうございます。
信念を貫くリーダー育成委員会、委員長の宮地輝です。
本年度、当委員会では己を見つめ直し、考えることで自己理解を深め、周囲や環境の変化に左右されることがないように、時代の流れを見据え自ら捉えて対応する力を育み、信念に基づいていち早く行動する力を育むことで信念を貫くリーダーを育成してまいります。
1年間日々精進して参りますので、皆様のご参加宜しくお願い致します。



渉外委員会
柴田 里奈

新年あけましておめでとうございます。
本年度渉外委員会委員長の柴田里奈です。
渉外委員会では、70周年に向けてメンバーの意識向上、対外への情報発信、積極的な対外交流を行ってまいります。
多くのメンバーに対外交流を経験していただける様、全力で取り組んで参ります。なるべく多くの事業へのご参加頂きますようお願いいたします。1年間どうぞよろしくお願い申し上げます。



インクルーシブシティ創造委員会
原 仁志

新年あけましておめでとうございます。
インクルーシブシティ創造委員会、委員長の原仁志と申します。
本年度、当委員会では「多様性を認め、他者に関心を持てるようになる子どもたちを増やす」為の事業を行ってまいります。
参加される子どもたちに実りある事業にするためには皆様のご協力が必要です。お忙しいとは思いますが、ご参加のほどよろしくお願い申し上げます。

新入会員紹介



あうる・はり・きゆう
接骨院
青山 虎太



(株) 飯田建設
飯田 雄太



(株) 丸三ポンプ工業
稲垣 雄大



(有) 大脳サービス
大脳 正樹



K's AUTO
岡村 耕作



Confidence
小池 晃弘



(株) オリエンタル
榎原 匠



(株) リリーフ
白木 秀頼



衆議院議員
古屋圭司事務所
友江 惇



茶屋 木曾馬
長尾 謙司郎



SMC税理士法人
長縄 龍哉



大建
樋口 大輔



(有)スマイルショップ
多治見
森 央介



山下建材店
山下 雄平



2WIN
山田 和輝



(株) 山田林業
山田 幸之介



スパイスファクトリー
あべべ
山田 智裕

出向者紹介

(公社) 日本青年会議所東海地区協議会出向者
組織連携推進会議 委員 荒金祥太
アカデミー委員会 委員 田中樹希斗
岐阜ブロック大会2024実行委員会 委員 寺島大貴

(公社) 日本青年会議所東海地区岐阜ブロック協議会出向者

日本青年会議所業種別部会業室部会出向者
監事 吉田企貴
常任委員 藤田悠吾 谷口雄亮

東海コンファレンス運営委員会
副委員長 滝沢瞭
委員 水野恵介 茂木雄貴
寺島大貴 松島雄平